

コメントテンプレート

日付: 2025/8/28	規格番号: C6192-1	プロジェクト:
---------------	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 1	116	3.1		ed	— x と y のフォント或いはサイズが異なるのではないかと思います。確認をお願いします。	フォント或いはサイズが異なっていた場合、統一をして下さい。	ご指摘のとおり、サイズを統一します。
渋谷 隆 1	299 他	6.2 他		ge	“不確実性”が使われている。	“測定不確かさ”に変更する。	原文は“uncertainty”であり、“測定”という言葉は入っていませんが、“測定不確かさ”に変更します。
渋谷 隆 2	308 604 607	6.4 3.4.3 4.1		ge	“測定精度”が使われている “精度”が使われている。 “精度”と“測定不確かさ”	“精度”と“測定不確かさ”の違いを説明する注記を追加する。	“accuracy of the measurement”の訳として“測定精度”としました。 次の注記を追加します。 注記 “uncertainty”及び“accuracy of the measurement”の訳を、それぞれ“測定不確かさ”及び“測定精度”とした。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント※	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	219	4		ed	“とられる” JIS では極力能動態を用いる。	“とる”に修正する。	原文は“is”なので、“である”に修正します。
渋谷 隆 2	226 232 233 235	5.2 5.3 5.4		ed	“得られる”	“求めることが可能である”に修正する	“可能である”は“can”以外に使ってはならないとの指摘を受けています。 元の文は“are obtained”なので“得られる”としました。
渋谷 隆 3	250	6.3		ge	“不確実性”	“不確かさ”に修正する。	原文は“”probable error”なので、“起こり得る誤差”に修正します。
渋谷 隆 4	262	6.4		ge	“測定精度”	“精度”と“測定不確かさ”の違いを説明する注記を追記する。	“accuracy of the measurement”の訳として“測定精度”としました。 “不確実性”を“起こり得る誤差”に修正しましたので、注記は不要と考えます。
石井 1	p.10 315 行			ge	式(12)の記載方法と JIS C 6192-1 368 行(16)式の記載方法が違うので、合わせた方が良くないでしょうか？ 541 行でも「×」は入っていないようです。 (「×」が入るか入らないか)	JIS C 6192-1 368 行(16)式に合わせるなら、「×」を取る	「×」を取ります。
石井 2	p.14 391 行			ge	試験報告書の記載方法を JIS C 6192-1 447 行の記載方法に合わせた方が良くないでしょうか。	a)1) 「試験は JIS C 6192-2:9999 に従って実施したとの記載」 c)3) 動作モード (CW 又はパルス) c)5) JIS C 6192-2 のみ「モード」が入っていますが、JIS C 6192-1 には不要でしょうか。	a)1) JIS C 6192-1 の記載に合わせ、 「試験は JIS C 6192-2: 9999 に従って実施したとの記載」 とします。 c)3) JIS C 6192-1 の記載に

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント※	修正案	検討結果・対応案
							合わせ、 動作モード（CW 又はパルス） とします。 c)5) 元の ISO 11146-1 には「モード」は入っており、ISO 11146-2 にのみ記載されていますので、それに合わせて、このまましたいと思います。 なお、ISO 11146-1, 11146-2 については、次の定期見直しの際に、記載を整合させるようコメントしたいと思います。
山田 1	546	2.6	図 2	ed	定義されていない D_y 、 D_x が用いられている	適切な変数に変更。	元の ISO/TR 11146-3 の図で D_y 、 D_x となっていますが、やはり定義されていません。 d_{ay} 、 d_{ax} に修正します。
石井 3	p.22 581 行			ge	式 (38) の右辺と式(39)の右辺が同じですが、これでよろしいのでしょうか。 合っているなら申し訳ございません。	ご確認いただければ幸いです。	分母の μ の符号が異なっているため、式(38)と式(39)のそれぞれの右辺は異なる式です。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025/8/28	規格番号: C61757-1-1	プロジェクト:
---------------	------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
藤井 1	137,144, 167,180, 340,359, 361,912 1021,			ed	75 行で、「ファイバブラッググレーティング (FBG)」と略称を明記しているので、一般的に 76 行目以降は、略称の FBG を用いるのが普通である。しかし、文章全体に渡り、「ファイバブラッググレーティング」と「FBG」が混在して表記されている。特別な理由があるのでしょうか？	記載を「FBG」と統一する。	記載を「FBG」に統一いたします。
山田 1	180	3.7	図 1	ed	「3dB」は数字と単位の前にスペースが必要	3dB→3 dB	ご指摘どおりに修正します。
渋谷 隆 1	264	3.1.6		ed	“曲げられる”	“曲げることができる” に修正する。	案のとおりに修正します。
藤井 2	321	5.1		ed	「ファイバー」と記述されているが、文章の全体で用語として「ファイバ」に統一されている。	「ファイバ」とする。	「ファイバ」に修正いたします。
渋谷 隆 2	333	5.1		ed	“張力のある状態に置いたり、温度が上昇すると“	“引張力を与える又は温度が上昇すると”に修正する。	案のとおり修正します。
渋谷 隆 3	339	5.1	図 2 c)	ed	“0.1...1 nm”	“0.1 nm～1 nm”に修正する。	案のとおりに修正します。
渋谷 隆 4	340	5.1		ed	“ファイバブラッググレーティング”	“FBG”に修正する。	案のとおりに修正します。
渋谷 隆 5	347 356 など	5.1		ed	“ブラッググレーティング”	“FBG”に修正する。	このままでお願いします。 原文では、「Bragg grating」、「Fiber bragg grating」、「FBG」と使い分けられており、該当箇所は“ブラッググレーティング”と記載することとしました。
渋谷 隆 6	461	5.7.2		ed	“メイン”	“主”に修正する。	案のとおりに修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025/8/28	規格番号: C61757-1-1	プロジェクト:
---------------	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
石井 1	p.16 532 行			ge	「附属書 A の“FBG ひずみセンサのさらなる特性”に規定」 タイトルを附属書 A の「FBG ひずみセンサの追加の特性」に合わせた方が良い。	「附属書 A の“FBG ひずみセンサの追加の特性”に規定」	“FBG ひずみセンサの追加の特性”に修正します。
藤井 3	543	7.1.4		ed	「試験であるこの場合、」句点が抜けている。	「試験である。この場合、」とする。	「試験である。この場合、」に修正いたします。
渋谷 隆 7	574	7.2.1		ed	$\Lambda + 0$, $\Lambda - 0$ は、波長を示している。 また、 $\Lambda + 0$, $\Lambda - 0$ は、図 5 には A_{+0} , A_{-0} で示されている。 量記号は斜め字で表示する。	A_{+0} , A_{-0} , ブラッグ格子の反射ピークの最初の極（最小）波長（図 5 参照）とする。	案の“A”を“ λ ”に変更して修正し、注記を追加します。また、図 5 中の A も同様に変更します。 注記 対応国際規格では量記号に“ Λ ”を用いているが、この規格では“ Λ ”を FBG 周期に用いており、間違いを避けるため、量記号を“ λ ”に変更した。
渋谷 隆 8	578 614 1040 1041 1227	7.2.1 7.3.1 8 C	図 5 注記	ed	“精度” 精度と不確かさを意図して使い分けているか		Accuracy を“精度”、uncertainty を“不確かさ”と使い分けています。
石井 2	p.22 685 行			ge	232 行の表記方法と合わせた方が良くないのでしょうか。 （「×」が入るか入らないか）	「×」を取る	案のとおりに修正します。
石井 3	p.40 1148 行 1149 行			ge	LF、LG F や G は下付きではないでしょうか？（394 行参照）	L_F 、 L_G にする。	F 及び G を、下付き（ L_F 、 L_G ）に修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員 名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 9	1076	A.1		ed	“偏波” C5873「偏波保持光ファイバ素線」があるため、 偏波保持光ファイバはそのままが良い。	“偏光”に統一する。	案のとおりに修正します。
渋谷 隆 10	1239	C		ed	“偏波保持光ファイバを使用しなければならない。” 参考情報の附属書 C に要求事項が含まれてい る。	要求表現を修正する。	次のように修正します。 “偏波保持光ファイバを使用 するのが一般に望ましいと されている。” また、附属書 B、附属書 C 及び附属書 D において、要 求事項、推奨事項及び許容 事項の記載を次のように修 正します。 ・要求事項：「なければなら ないと一般に解釈されて いる」 ・推奨事項：「一般に望ま しいとされている」 ・許容事項：「してもよい とされている」
渋谷 隆 11	1248 1255 1272	D.1		Ed”	参考情報の附属書 D に要求事項が含まれてい る。 “適用する FBG ひずみセンサの種類ごとに測定対 象物の影響を考慮しなければならない。” ”考慮 しなければならない。 ”	要求表現を修正する。	次のように修正します。 “考慮するのが一般に望ま しいとされている。”

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	198	4.1		ge	次のなかから。があいまい。	不要なら削除する。 又は箇条 4.2 を指定する。	4.1 での「～次の中から選択することが望ましい。」なので、あくまで 4.1 に記載のカテゴリ下限温度、上限温度などを指しており、4.2 の定格推奨値ではないと思います。 修正なしでお願い致します。
						“次のなかから”、を“箇条 4.1 に示す条件から”に変更する	意識として “4.1 に示す条件から～”に変更致します。
藤井 1	260	5.4.1.2		ed	「コンデンサ C ₁ を削除する。」が意味不明。コンデンサは電子部品であり、削除という言葉では意味が解らない。	文章の意味が不明で修正案を提示できない。	点線下線で次のように追加説明致します。 「JIS C 5101-1:2023 の図 6 の回路図で、コンデンサ C ₁ を削除する。」
山田 1	293	5.4.3.3	表 5	ed	「1μF」は数字と単位の前にスペースが必要	1μF→1 μF	修正致します。
渋谷 隆 2	558	8.4.2.1		ge	次によるの範囲があいまい。	559 行から 564 行を箇条書き、たとえば、－ にするなどで明確化する。	ご指示通り細別記号（－）で、四つの細別に変更致します。 C5101-23 でも 562 行から同じ記載があるので、変更致します。
石井 1	p.17 577 行		表 9 注 b)	ge	5.14 および 5.15 には「適用する場合」との記載がありますので、「要求がある場合」を上記に合わせた方が良いのではないのでしょうか。	「注 b) 適用する場合」とする。	ご指示通り「適用する場合」に統一致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025-09-02	規格番号: JIS C 5101-20	プロジェクト:
----------------	---------------------	---------

委員 名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇 条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
石井 2	p.23 588 行		表 10 注 e)	ge	上記と同じく、「要求がある場合」の記載を合わせた方が良いのではないのでしょうか。	「注 e) 適用する場合」とする。	ご指示通り「適用する場合」に統一致します。
石井 3	p.31 629 行		表 A.2 注 e)	ge	上記と同じく、「要求がある場合」の記載を合わせた方が良いのではないのでしょうか。	「注 e) 適用する場合」とする。	ご指示通り「適用する場合」に統一致します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	198	4.1		ge	次の中から、があいまい。	箇条 4.2 を指定する。	4.1 での「～次の中から選択することが望ましい。」なので、あくまで 4.1 に記載のカテゴリ下限温度、上限温度などを指しており、4.2 の定格推奨値ではないと思います。 修正なしでお願い致します。
					箇条 4.2 を含むと誤解する可能性がある。	“次の中から“を” 箇条 4.1 に示す条件から“に修正する。	意識として “4.1 に示す条件から～”に変更致します。
藤井 1	263	5.4.1.2		ed	「コンデンサ C ₁ を削除する。」が意味不明。コンデンサは電子部品であり、削除という言葉では意味が解らない。	文章の意味が不明で修正案を提示できない。	点線下線で次のように追加説明致します。 「JIS C 5101-1:2023 の図 6 の回路図で、コンデンサ C ₁ を削除する。」
山田 1	296	5.4.3.3	表 3	ed	「1μF」は数字と単位の前にスペースが必要	1μF→1 μF	修正致します。
石井 1	p.17 581 行		表 8 注 b)	ge	5.14 および 5.15 には「適用する場合」との記載がありますので、「要求がある場合」を上記に合わせた方が良いのではないのでしょうか。	「注 b) 適用する場合」とする。	ご指示通り「適用する場合」に統一致します。
石井 2	p.23 591 行		表 9 注 e)	ge	上記と同じく、「要求がある場合」の記載を合わせた方が良いのではないのでしょうか。	「注 e) 適用する場合」とする。	ご指示通り「適用する場合」に統一致します。
石井 3	p.30 630 行		表 A.2 注 e)	ge	上記と同じく、「要求がある場合」の記載を合わせた方が良いのではないのでしょうか。	「注 e) 適用する場合」とする。	ご指示通り「適用する場合」に統一致します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2025/8/28	規格番号: C5920-4	プロジェクト:
---------------	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	200	7		ed	IEC/TR 62627-02	IEC TR 62627-02 に修正する。	ご指摘どおりに修正します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 1	134	3.1.10		ed	「 TEC_{actual} 」が変数ならイタリック表記になるのではないかと思います。また本文中に多くの「 TEC_{actual} 」、や「 $TEC_{estimated}$ 」が記載されています。同様のご検討をお願いします。	変数ならイタリック表記に変更が必要だと思います	ご指示通りイタリック表記（「 TEC_{actual} 」、「 $TEC_{estimated}$ 」）に変更致します。
山田 2	143	3.1.11.2		ed	本文中では「 $T_{sleepWoL}$ 」と記述されています。統一するために「 $T_{sleepWoL} \rightarrow T_{sleepWoL}$ 」が必要なのではないでしょうか？	$T_{sleepWoL} \rightarrow T_{sleepWoL}$	対応国際規格では全て $T_{sleepWoL}$ なので、表 B.1 の $T_{sleepWoL}$ を $T_{sleepWoL}$ に修正致します。
渋谷 隆 1	193	3.2		ge	略語と量記号が混在している。	略語と量記号の箇条を分ける。	3.2 に記載の文字は全て略語です。また、対応国際規格どおりになります。
					対応国際規格が不適切な表現であれば修正しなければならない。	修正し、MOD として作成しなす。 難しい場合は、解説の懸案事項に対応国際規格が不適切である旨を記載し、国内委員会から提案するよう記載する。	対応国際規格では全て立体であり略語の説明としては問題ないのですが、本文中で CFR、MCR が量記号として使われているため、今回の JIS 改正では CFR、MCR を全て斜体に修正しました。今後の対応としましては、次の対応国際規格改訂時に略語と量記号の違いが分かるように修正することを提案したいと思います。
諏訪 1	217	3.2		Ed	製品波高率について 742 行、746 行では、斜体文字となっている。	PCF を斜体文字とする。	ご指示通り PCF を斜体に致します。
諏訪 2	218	3.2		Ed/te	力率について、713 行目では直立体。747 行目では斜体となっている。 747 行目の PF と 3.2 略語の PF は同じで良いか？	PF を斜体文字とする。	ご指示通り PF を斜体に致します。 また、747 行目の PF と 3.2 略語の PF は同じです。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 2	220	3.2		ed	RMS は一般的に二乗和平方根 例えば 476 行 有効 RMS 電力計測器 は 有効実効値電力計測器と置き換えても理解できる のか	適切な用語を検討する。	交流電力の測定ですので、 「実効値」の方がより適切 と思います。 その一方で、ご指摘にあつ た「有効 RMS 電力計測 器」ですが、「真の RMS 電力測定器」とするのが妥 当なので、変更します。 これは「真の実効値電力測 定器」として意味が通じま す。
渋谷 隆 3	221	3.2		ed	TEC は量記号	斜め字に変更する。	TEC は Typical Energy Consumption の略語で量記 号ではありません。算出式 に記載の TEC actual、TEC estimated は量記号なので、 TEC を斜体にいたします。
渋谷 隆 4	741	5.8		ed	不確実性 不確かさが広く用いられている	不確かさに変更する	「不確かさ」に変更いたし ます。
渋谷 隆 5	732	5,8		ed	精度	精度と不確実性との違いは明確になっているか	対応国際規格の accuracy を精度、uncertainty を不確 実性（不確かさ）とそれぞ れ訳しています。 対応国際規格の accuracy は測定器具に対して、 uncertainty は測定値に対し て用いられており、 これは元々の accuracy, uncertainty の定義に即して いるものと思いますので、 JIS 版もそれぞれ「精度」 「不確かさ」で問題ないと思 います。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 6	781	5.10		ed	箇条番号と間違える可能性がある。	表形式にできないか	箇条番号には句点「.」が付きませんので違いは判ると思います。対応国際規格どおりになります。
						“次に記載する最低限の情報を報告しなければならない。フォーマットはサンプルである。” を“1. EUT の詳細～5.報告者 に記載する最低限の情報を報告しなければならない。フォーマットの例を 1. EUT の詳細～5.報告者 に示す。 に修正する。	次のように点線下線で追記致します。 “次の 1. EUT の詳細～5.報告者.に記載する最低限の情報を報告しなければならない。フォーマットはサンプルである。”
藤井 1	861		図 A.1	ed	図の縦軸と横軸の変数名と単位が示されていない。	変数名、単位を示す。	対応国際規格には、縦軸「Population」、横軸「Profiles」と記載があるので、これを意味する日本語として縦軸「母集団」、横軸「プロファイル」と記載いたします。 また対応国際規格の図の名称に「Bell Curve」と記載があるので「正規分布」と記載いたします。
藤井 2	947		表 C.3	ed	表の中の TECactual と TECestimated に関して単位が示されていない。	単位として、「kWh」を示す。	対応国際規格に表内の単位の記載はありませんが、分かりやすくするために、点線下線で、 TECactual...(kWh)... TECestimated...(kWh)... と追記いたします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。